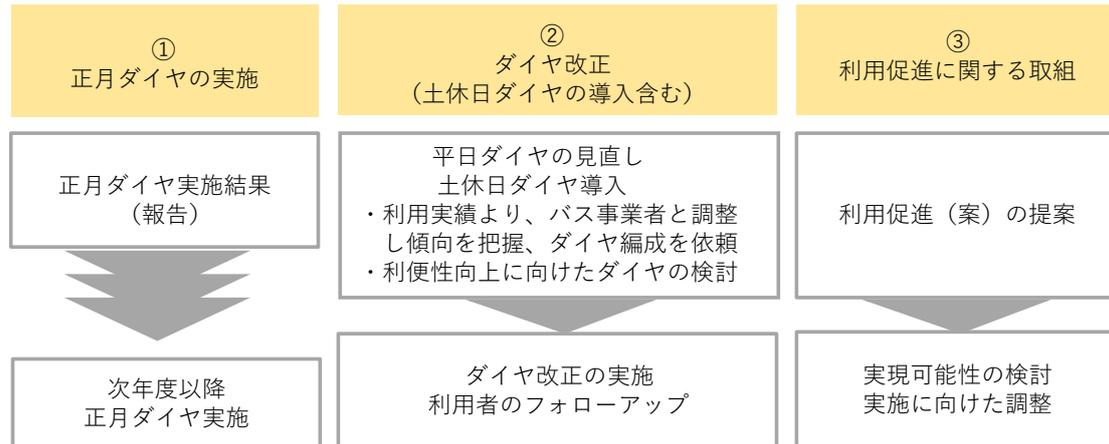


はなバスの改善策の検討案について

1. はじめに

はなバスの運行については、平成 25 年 8 月に運賃見直しや平成 28 年 4 月にルート見直しを行ってきたが、運行にかかる経費に対し、収入が不足しており、運行補助金が年々増加傾向にある。しかしながら、コミュニティバス事業は、公共交通空白地域・不便地域を中心に運行しており、地域住民の移動手段を担っているため、今後は利用実態に合わせた運行に見直ししていくと共に、利用者数の増加に向けて取り組んでいく必要がある。

そこで、はなバスの運行に関しては、以下の 3 つを中心に、検討を進めていく。



2. 正月ダイヤの利用状況と調査実施概要

(1) 実施期間

令和2年1月1日(祝)～1月3日(金)(3日間)

(2) 正月ダイヤの運行本数と始発終発便の時間帯

表 1. 運行本数と始発終発便の時間帯

系統	通常			正月			
	運行本数 (本)	始発 時間帯	終発 時間帯	運行本数 (本)	始発 時間帯	終発 時間帯	
第 1	43	7時台	21時台	28	7時台	20時台	
第 2	駅間	39	8時台	21時台	23	8時台	20時台
	循環	18	6時台	21時台	14	8時台	20時台
第 3	駅間	33	6時台	21時台	18	8時台	18時台
	循環	28	6時台	21時台	13	7時台	20時台
第 4 北	54	7時台	21時台	24	7時台	19時台	
第 4 南	86	6時台	21時台	65	8時台	19時台	

(3) 日付別系統別の利用者数 (結果)

表 2. 日付別系統別の利用者数

月	日	曜日	運行形態	第 1 (人)	第 2		第 3		第 4 北 (人)	第 4 南 (人)
					駅間 (人)	循環 (人)	駅間 (人)	循環 (人)		
12月	27	金	通常ダイヤ	843	450	326	434	485	523	846
	28	土		669	327	224	313	394	500	791
	29	日		544	274	198	241	273	295	548
	30	月		663	303	214	294	373	272	778
	31	火		529	276	191	195	229	196	553
1月	1	祝	正月ダイヤ	461	156	170	196	181	111	434
	2	木		458	169	248	217	230	167	604
	3	金		430	168	185	223	185	177	518

(4) 実施期間における運行本数と利用者数

表 3. 1 便あたりの利用者数

系統	①運行本数		②正月 (三が日) の利用者数		③ 1 便当たりの利用者数 (=②÷(①×3日))		増減傾向	
	通常 (本/日)	正月 (本/日)	H30 年度 (人)	R 1 年度 (人)	H30 年度 (人)	R 1 年度 (人)		
第 1	43	28	1774	1349	13.8	16.1	↗	
第 2	駅間	39	23	947	493	8.1	7.1	↘
	循環	18	14	681	603	12.6	14.4	↗
第 3	駅間	33	18	782	636	7.9	11.8	↗
	循環	28	13	870	596	10.4	15.3	↗
第 4 北	54	24	628	455	3.9	6.3	↗	
第 4 南	86	65	1801	1556	7.0	8.0	↗	

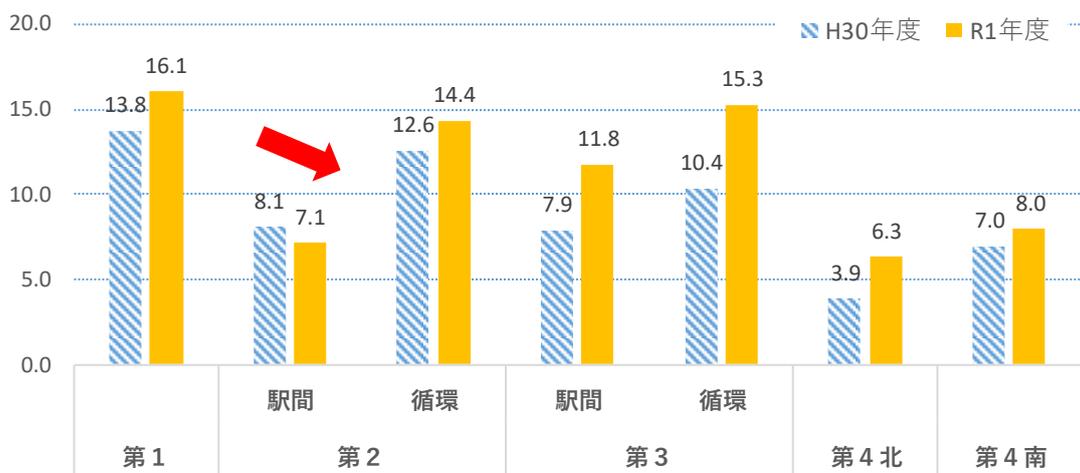


図 1. 1 便あたりの利用者数

3. 正月ダイヤ実施に伴う事前周知及びアンケート調査

(1) 調査実施概要

調査目的	① 正月ダイヤ実施に伴う事前周知 ② 正月ダイヤ実施に伴うはなバス利用者の影響を把握
調査方法	① はなバス車内にアンケート票及び回収 BOX を設置。以下、「車内アンケート」とする。 ② はなバスの全停留所に QR コードを掲出、市 HP に URL を掲出。以下、「ウェブアンケート」とする。
調査期間	令和元年 12 月 16 日（月）～令和 2 年 1 月 17 日（金）

(2) アンケート票の構成

アンケート調査項目		調査目的
問 1	お住まいの町丁目、年代、乗車日、乗車時刻、乗車バス停、降車バス停	利用ルートの把握
問 2	正月期間における運行、始発便時刻の変更、終発便時刻の変更、運行本数	正月ダイヤ実施に関する意識の把握
問 3	正月期間中に利用したい時間帯（お出かけ・お帰り）、目的地、利用目的（複数回答）	正月期間中の利用者意識の把握 ※問 3 の全ての項目に回答のない方は、利用しない方とする。
問 4	情報入手先（複数回答）、アンケート提出日	・利用者が情報を入手する媒体の把握 ・実施前後の回答状況の把握

※アンケート票については、資料 1-2 を参照。

※両調査ともに同じ調査項目である。

(3) 調査実施結果

	車内	ウェブ	合計
回収数	125 票	76 票	201 票

4. 単純集計結果

(1) 個人属性

①各ルートへの回答数と割合

○第3ルートの回答が55票と多く、第4北ルートの回答が22票と少なかった。

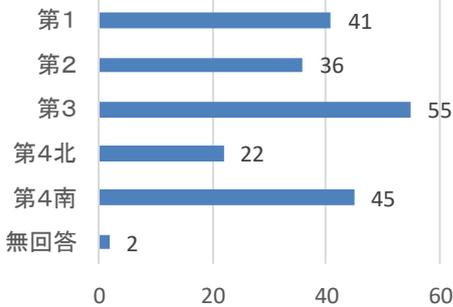


図2. ルート別の回答数

②回答方法別の年代層

○50歳代の回答者が53票と多かった。
○年齢が上がるにつれて車内アンケートの回答数が多く、中年層ではウェブアンケートの回答が多くみられた。

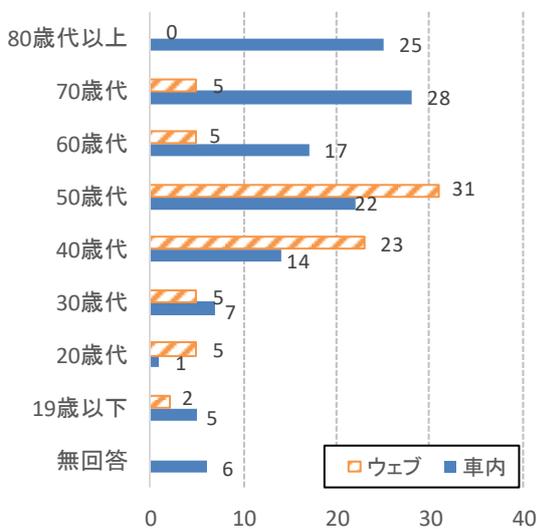


図3. 回答手法別に見た年代

③アンケート票提出状況

○事前に回答した方が121票と多かった。

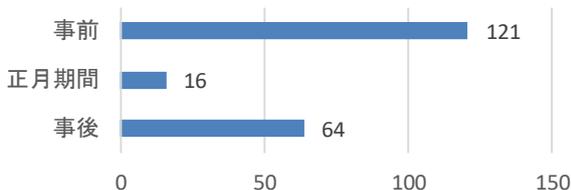


図4. 正月ダイヤ実施前後の回答数

(2) 正月ダイヤの運行に関する意識

<前提条件>

問3の全ての項目に該当のない方を、正月期間に利用しない方と見なし、1つでも項目に該当した場合は、正月期間にはなバスを利用する方として抽出し、分析をした。

① 正月期間の利用状況

○利用すると回答した方は全体の約76%であった。

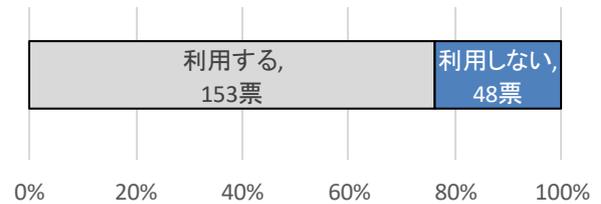


図5. 正月ダイヤの利用状況

②正月期間の運行に関する利用者意識

○役立つと回答した人が、全体の約75%を占めた。
○始発便や終発便の時間帯変更よりも、運行本数が少ないことについて、「困る」「どちらかと言えば困る」と回答した人の割合が約42%と多かった。

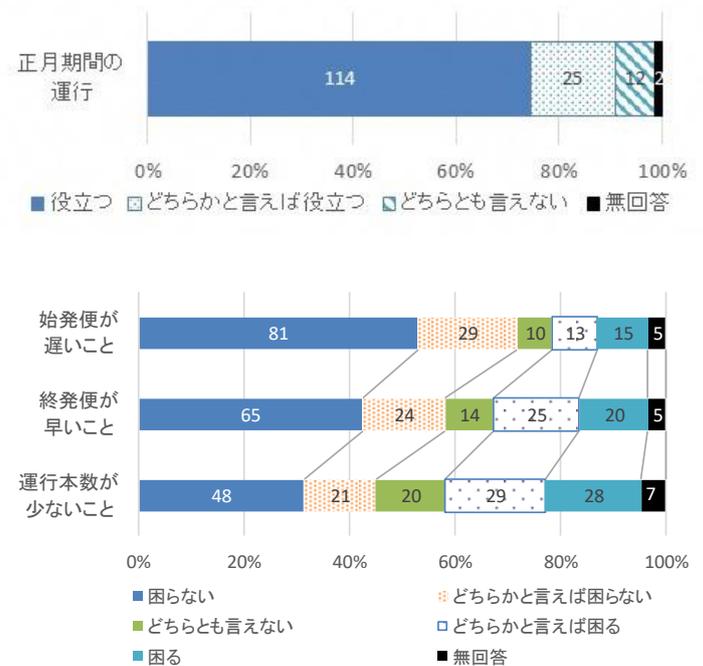


図6. 正月期間の運行に関する意識

③正月期間中の利用時間帯

(A) お出かけの時間帯
 ○第1・3・4南は10時台の利用希望が多かった。第4南は、始発便が8時台であったことにより、7時台の利用希望も多くみられた。

(B) お帰りの時間帯
 ○第1・3は17時台の利用希望が多く、第4南は19～20時台の利用希望が多かった。

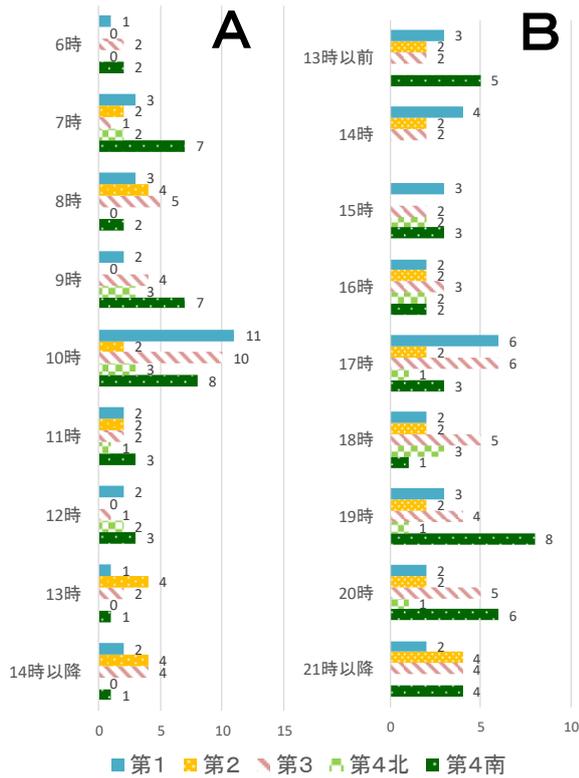


図7. ルート別にみた利用希望時間帯

(C) 正月期間の利用目的

○第1・2はその他レジャー、第3・4北・4南は食品・日用品の買い物を利用目的として回答した人が多かった。また、第3については神社・仏閣・教会等へのお参りを利用目的として回答した人が次いで多かった。



図8. ルート別にみた利用目的

(3) 正月ダイヤの運行に関する情報媒体(複数回答可)

○バス停で知った方が134票と多く、次いで車内で知った方が66票と多かった。

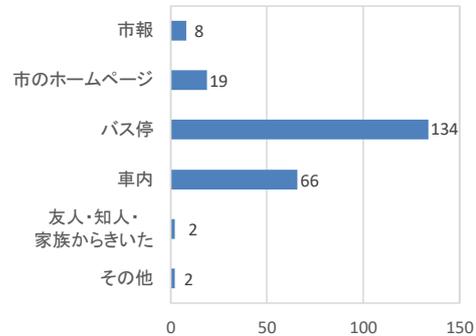


図9. 利用者の情報入手媒体

(4) 自由意見

表4. 自由意見

運行に関わるもの	感謝	39票
	運行本数の増便、運行間隔の要望	27票
	正月ダイヤの実施は問題ない	12票
	引き続きはなバスの運行のお願い	11票
	定刻通りの運行のお願い	9票
	始発時間をはやめ、終発時間を遅めてほしい。	4票
乗車運賃	大型連休の運休の提案	2票
	ラッシュ時の田無駅の乗り入れをやめてほしい。	1票
	定期券、シルバーバスの導入	4票
車内環境や周辺環境の整備	50円値上げした理由を知りたい。値下げしてほしい。	2票
	バス停を設置して欲しい。	5票
	ベンチの設置や車内環境を整備してほしい。	5票
その他	車両の小型化・大型化にしてほしい。	2票
	時間変更を目立つところに掲示してほしい。	5票
	時刻表が風で飛ばされていた。など	3票
	運転手の態度を改善してほしい。	3票
	田無駅案内所の人が不親切である。	2票
	小学生アナウンスが聞き取りにくい	2票
筆記用具を用意してほしい	1票	

5. アンケート調査結果のまとめ

○正月期間にあたっては通常時の利用目的と異なるため、正月期間の始発便や終発便の時間帯変更よりも、利用したい時間帯に運行本数が少ないことが、利用者の意識に影響を与える要因の一つであることがわかった。

○アンケート調査を実施したことで、事前の周知に繋がったと考えられる。今後も情報提供する際には、一定の周知期間を設け、実施することが望ましい。

○バス停や車内で情報を入手した方が多いことから、情報提供する際は利用者が普段利用する場所で行うことで周知の効果が見込める。